



自社開発商品のミッペール(左)とテンレイン・スクラム(右)。

人財の力や新しいビジネスモデル、商品・サービスでコロナ禍を乗り越える

優良企業 2021 / トップインタビュー

企画・制作/株式会社エム TEL.03-5835-2070

天昇電気工業株式会社

創業85年、東証上場60年の業界の老舗  
合成樹脂製品で社会に幅広く寄与

さらなる成長のために優秀な人財を募り育成。  
プラスチック素材に魅力を感じ、ものづくりをしたい人必見!

プラスチック加工製品の製造  
開発を続け、自動車・家電・  
OA分野で信頼の実績

天昇電気工業は1936年に創業。プラスチック製品が20世紀初頭に生まれてまだ100年あまりではあるが、同社はいち早く日本でプラスチックの加工製品を作り始めた業界の草分け的な存在である。1961年には東証に早くから上場した業界の中では数少ない企業だ。



天昇電気工業株式会社  
代表取締役社長  
石川忠彦

同社の代表取締役社長をつとめる石川忠彦社長は1979年に三井物産へ入社して以来、ずっと化学部門のプラスチック分野を歩いてきた。「当時から、プラスチック加工分野で古い上場企業があることは有名でした。まさか自分はその会社の社長になるとは夢にも思いませんでした」と石川社長は当時を振り返ってこう述べる。現在は国内に5つの工場、海外に3つの工場を持ち、欧米を中心にグローバル展開にも力を注ぐ。現在の事業の内訳は、自動車産業の部品加工が6割を占める。自動車は、軽量化のために数多くのプラスチック部品が使われている。たとえば、車のダッシュボードやエアバッグのカバー、シート部分の製造など。これらの部品には同社の製品が多く使われている。事業の2割を占める家電・OA分野では、機能性とデザイン性を両立できるような照明器具や液晶テレビの外装部分、オフィスチェアなどの設計・製造・加飾・組立を手がける。自動車産業では国内の主要自動車メーカーと取引をしており、要望も多種多様だ。特に日本の自動車は最先端の技術が結集しており、使用する部品もパーフェクトな品質が要求される。同社はこれまで培われた技術力や積み重ねてきた信頼の実績で、各メーカーからの厳しい製品条件や要求にも応え高品質の製品を提供し続けている。プラスチック加工のノウハウを生かした環境配慮型商品に注目!

同社の自社ブランド商品として

注目を集めているのが、『ミッペール』(医療感染廃棄物容器)と『テンレイン・スクラム』(雨水貯留浸透施設)だ。

『ミッペール』は、医療廃棄物を密閉するためのコンテナで、昨今は新型コロナウイルスの接種が始まったこともあり、非常に注目されている。蓋をすれば密閉され、においや液体が漏れる心配もない。注射針も貫通しづらい強度をほこり、そのまま焼却施設で焼却できるよう、環境にも配慮している。『テンレイン・スクラム』とは、土に埋め込むことでゲリラ豪雨や集中豪雨の際に一時的に雨水を貯めて浸水被害を防ぐためのもの

ある。プラスチック製なので比較的軽く、人の手で組み立てられるのが特徴だ。重機がいらないので施工期間が短く、人手不足に悩むゼネコンで重用されている。プラスチック製でありながら、50年の耐久性と震度6にも耐えうる耐震性を誇る。

「当社は日本を代表するメーカーと取引しており、製品や技術で期待に応えられている自信はあります。しかし、なんらかの要因で委託先が減産に舵を切れば、当社も大きく影響を受けてしまいます。一方、自社商品は外部要因に左右されることがなく、自社で開発・販売するので利幅も大きく、製造委託の売上減少をカバーできることがメリットです」と石川社長は、自社商品の開発に力を入れている理由を語る。

ボトムアップがパワーの源泉  
社員のアイデアを社長自ら  
吟味し積極的に採用

同社は、コロナ禍でも業績は好調だ。先行き不安で採用活動を縮小する企業が多い中、このコロナ不況を優秀な方に参画していただくチャンスととらえ、すべての職種で新卒・中途ともに積極採用し

ている。

「当社には85年の歴史があります。だからこそ違ったカルチャーで育った方に入社していただきたいのです。彼ら・彼女らが持つ新鮮な感性や価値観が新たに加わることで、既存の社員と化学反応を起こしたときに、どんな効果が生まれるかと思うとワクワクします」と石川社長。

若手に失敗をおそれずチャレンジしてほしいの思いから、若手を中心に自社商品開発チーム・生産革新チームを作らせ、社長自らが指揮する。若手社員から開発提案が直接社長に上がり、社長が即決するという。「挑戦したいこととができるという社風にすることによって、社員から積極的に提案があがってきますし、突拍子もないようなアイデアも出てきます。それを僕は歓迎したい。ボトムアップこそがパワーの源泉ですから」と石川社長は微笑む。

ものづくりを通じて社会貢献  
を実感できる、一人ひとりの  
心に刻まれた経営理念

同社は「もの作りを通じて豊かな社会を創造しよう」との経営理念を掲げる。「天昇電気の仕事

Profile Data

天昇電気工業株式会社

所在地 東京都町田市南町田5-3-65  
天幸ビル17  
電話 042-788-1555  
設立 1940年(昭和15年)  
資本金 12億800万円  
事業内容 プラスチック製品の設計・製造・販売  
プラスチック金型の設計・製造・販売  
https://www.tensho-plastic.co.jp/

通じて社会に貢献できていることが感じられた時、やり甲斐を見つけて働く意欲につながります」と石川社長は社員の意欲を大切に出来る会社になりたいと思いを語る。プラスチックは軽くて丈夫というその便利さゆえに、自動車から家電、日用品にいたるまで、ありとあらゆるものに使われている。「今後は、会社のレーゾンデートルであるプラスチックをさらに極めていきたい。」という石川社長。そのために、関連分野であれば、どんな分野でも参入するつもりだという。「天昇電気ブランドをもっと広く知らしめるために、自社商品に特に力を入れていきたいので、プラスチックの素材に魅力を感じ、一生かけてものづくりをしたい人に来てほしいですね」と力強く語ってくれた。